

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

和泉市長 辻 宏康

市町村名 (市町村コード)	和泉市 (27219)
地域名 (地域内農業集落名)	善正地区 (善正町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年8月29日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

現状:当地区は、農業者の平均年齢70.4歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念される。みかん、うめ等の果樹に加え、法人による大規模施設栽培が展開されている。

課題:

- ・収益性の改善  
単価の良い農産物の選定(果菜類)、生産量と品質の向上、経費の節減など。
- ・担い手探し  
新規就農者をはじめ多様な担い手を誘導。
- ・不法投棄対策  
部外者の侵入防止策、監視カメラによる不審車両の特定。
- ・獣害対策  
アライグマやカラス対策として忌避剤、電柵(※)、防鳥ネットの設置を検討。  
電柵(※)＝鳥獣被害防止総合支援事業(国事業)・・・受益戸数:3戸以上、補助率:直営施工は定額、請負施工は1/2以内、但し上限単価あり。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・6次化への転換  
6次化施設の整備に関する情報収集。
- ・ハウスの導入(イチジク、ぶどう等)  
<イチジク、ぶどう>  
大阪府立環境農林水産総合研究所にて栽培研究が行われており、特にぶどうについては大阪オリジナルの品種を希望する声を受け、「虹の雫」が開発された。本市果樹振興会に入会することで苗の購入が可能。
- ・地質の改善  
水はけ、石礫に対する土質改良には、国・府・市の補助事業を検討。補助メニューを検討し、傾斜畑の造成(フラット化)を実施することにより、新規就農者の呼び込みや既存担い手の規模拡大に寄与する。
- ・果樹栽培の省力化  
運搬、農薬散布、除草作業の省力化に繋がる農業機械の導入を検討。(モバイルムーバー、農薬散布用ドローン等)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	9.15 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	9.15 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

善正農業団地

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地域での話し合いにより、農業委員をはじめ関係機関の調整の元、貸出意向の農地所有者に対する働きかけを行い、担い手への農地の集積を推進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
担い手への集約や、新規就農者・企業の誘致・転貸を推進する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
—
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、関係機関と連携しながら担い手として育成していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
個々の状況に応じ、農作業委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

<b>【選択した上記の取組方針】</b>
①アライグマやカラス等の対策を実施
⑧ハウスを導入によるイチジク、ぶどう等の栽培を検討する。
⑩栽培方法、販売方法の検討による収益性の改善。